

RETURN TO FREEDOM, 1942-1946

2010, 5, 31

佐藤・重松・吉野・高崎

〈概要〉

① 4つのグループとしての解放

② 再定住の開始

③ アメリカ政府の政策

④ 市民権の放棄

⑤ 強制収容所の閉鎖

〈考察〉

自由について

解放をうたった様々な政策があり、それは一見「自由」を強調したものに思えるが、実際は当事者の意思(自己決定)を無視したものであると考えた。

〈ディスカッションポイント〉

- ・もし、自分が当事者だったら強制収容所から出るか、出ないか。
- ・ソーシャルワーカーとして両者に対してどのような支援をするか。
- ・「アメリカ人」でもなく「日本人」でもない「日系アメリカ人」というアイデンティティを堂々と主張できる社会にするには？